

コードレス温湿度計

簡易熱中症指標表示付き



親機



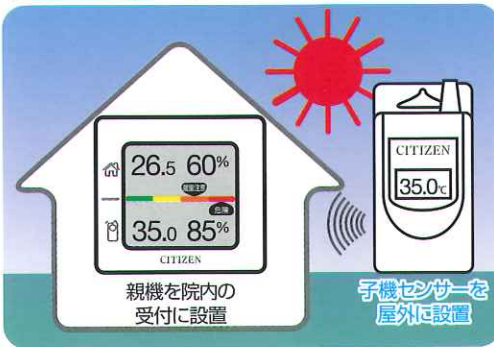
子機センサー

子機センサーの測定値は、親機へ無線で自動送信し表示されます。

医院価格
¥10,000
(税別)

快適な環境を維持するために離れた場所からでも温度と湿度をモニタリングできます。

屋内でも屋外でも約30mまでモニター可能です



本体（親機）院内の受付に設置

- 現在の湿度がわかり、感染予防対策がしやすい。
(湿度を50~60%に保つとウイルスが生存しにくい)
- 受付で室内 / 室外の温度・湿度がわかる

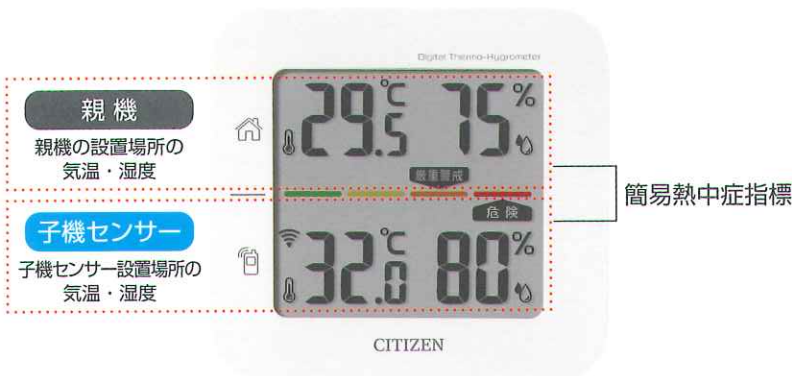
子機センサーを院外に設置

- 院内で院外の室温・湿度が分かり患者様がお帰りの際に注意喚起ができる。
冬：ヒートショック対策
夏：熱中症対策

HINT: 暖房を ON にするだけで湿度が30%以上失われる場合があります。コードレス温湿度計を設置するだけで湿度の変化が一目でわかります。

電池を入れるとすぐ測定をスタートし、自動送信開始。面倒な設定は一切不要です。

熱中症指標 (WBGT) は、親機画面中央に**注意**・**警戒**・**嚴重警戒**・**危険**の4段階で表示されます。熱中症指標 (WBGT) は、気温が低くても湿度が高いと熱中症指標 (WBGT) が高くなります。



熱中症指標 (WBGT) と気温、湿度の関係

		相対湿度 (%)																	
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	
気温 (°C) (乾燥温度)	40	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	
	39	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	
	38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
	37	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
	36	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	
	35	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	
	34	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	
	33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	
	32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	35	36	
	31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	31	31	32	33	34	35	
	30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	33	34	
	29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32	
	28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31	
	27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30	
	26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29	
	25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27		
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26		
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25		
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24		

日常生活における熱中症予防指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28~31°C以上)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28°C以上)	強い生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。